

令和8年度 播磨灘広域共同調査（7月6日調査） 徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層 (m)	水温 (℃)	塩分	DO (mg/L)	透明度 (m)	細胞/mL					
							シャットネラ アンティーカ	シャットネラ マリーナ	シャットネラ オーバータ	カレニア ミキモトイ	コクロディニウム ポリクリコイデス	アレキサンド リウム sp.
T4	8:21	0-5				9.0	-	-	-	-	0.08	-
		0	23.07	31.48	6.98							
		1	23.01	31.50	6.98		-	-	-	-	-	-
		5	22.40	31.82	6.67		-	-	-	-	0.32	-
		10	22.27	31.86	6.44		-	-	-	-	-	-
		15	22.17	31.89	6.32							
		20	22.12	31.88	6.24		-	-	-	-	-	-
		25	22.02	31.95	6.17							
		30	21.64	32.09	5.98		-	-	-	-	-	-
		B-1	21.58	32.10	5.77		-	-	-	-	-	-
T1	8:55	0-5				8.5	-	-	-	-	0.40	-
		0	22.72	31.26	7.59							
		1	22.53	31.38	7.53		-	-	-	-	0.12	-
		5	22.61	31.66	7.00		-	-	-	-	0.08	-
		10	22.24	31.87	6.53		-	-	-	-	-	-
		15	22.16	31.92	6.26							
		20	22.00	31.97	6.15							
		25	21.95	31.97	6.04							
		30										
		B-1	21.87	31.98	5.90		-	-	-	-	-	-
St.4	9:08	0-5				9.9	-	-	-	-	0.10	-
		0	23.25	31.10	7.32		-	-	-	-	-	-
		1	23.22	31.22	7.34		-	-	-	-	-	-
		5	23.07	31.27	7.44		-	-	-	-	0.03	-
		10	22.32	31.41	7.24		-	-	-	-	0.04	-
		15	21.88	31.64	6.56							
		20	22.04	31.95	6.47		-	-	-	-	-	-
		25	21.85	32.01	6.13							
		30	21.82	32.02	6.06		-	-	-	-	-	-
		35										
B-1	20.69	32.17	4.84	-	-	-	-	-	-			

播磨灘

◎ T4

◎ T1

◎ St.4

大浦 栗田 折野

淡路島

備考

・有害種のコクロディニウム ポリクリコイデスが検出されましたが低密度でした。

・有害種のシャットネラ属やカレニア ミキモトイは検出されませんでした。

・麻痺性貝毒原因プランクトンのアレキサンドリウム属は検出されませんでした。

・珪藻はキートセロス属主体でT4は前回調査時(6/29)より増加し、St.4は前回調査時(6/29)より増加しましたが、別調査時(7/3)と比べ大幅に減少しました。

珪藻細胞数
St.4(0-5m): 205cells/ml
T4(0-5m): 80cells/ml